

## 2-1 ホール施設及びその複合施設の設置状況

### ●施設数

ホール施設及びその複合施設（以下、ホール施設と言う）を設置主体別・運営形態別に集計したのが【表6】である。複合施設を構成している個別施設単位でカウントした延べ施設数で集計した結果、2000年3月末までに設置されたホール施設として回答があったのは計2,465館だった。設置主体別の内訳は、都道府県設置156館、政令市設置201館、市区町村設置2,108館で、市区町村設置施設が全体の85.5%に上っている。

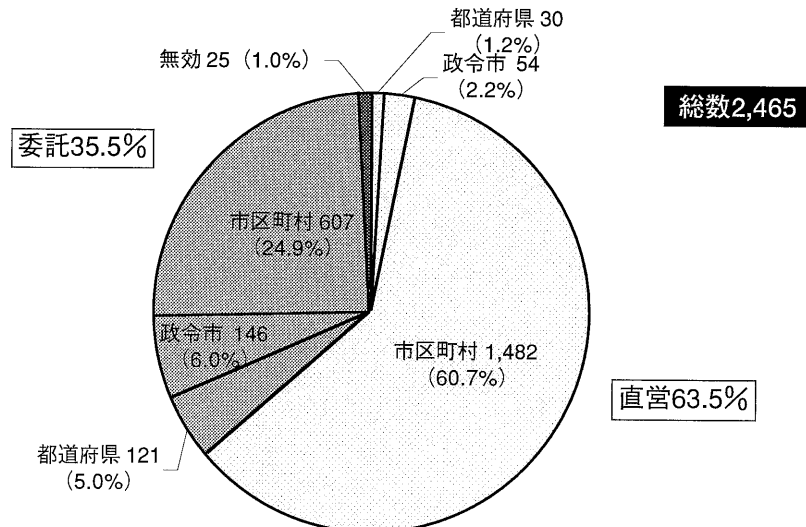
ホール施設の運営形態の割合を示したのが【図4】である。ホール施設全体で地方公共団体の直営館が63.5%（1,566館）、委託が35.5%（874館）となっている。設置主体別で比べると、都道府県設置施設で委託が77.6%、政令市で委託が72.6%といずれも委託比率が高くなっているのに対し、市区町村設置施設では委託28.8%、直営70.3%と直営館が極めて多く、設置主体の規模が小さいほど直営比率が高くなる結果となった。

【表6】 ホール施設の設置主体別・運営形態別施設数

設置主体	直営	委託	無効	総計
都道府県	30 (19)	121 (78)	5	156 (100)
政令市	54 (27)	146 (73)	1	201 (100)
市区町村	1,482 (70)	607 (29)	19	2,108 (100)
総計	1,566 (64)	874 (35)	25	2,465 (100)

※（ ）内は構成比

【図4】 ホール施設の直営・委託比率

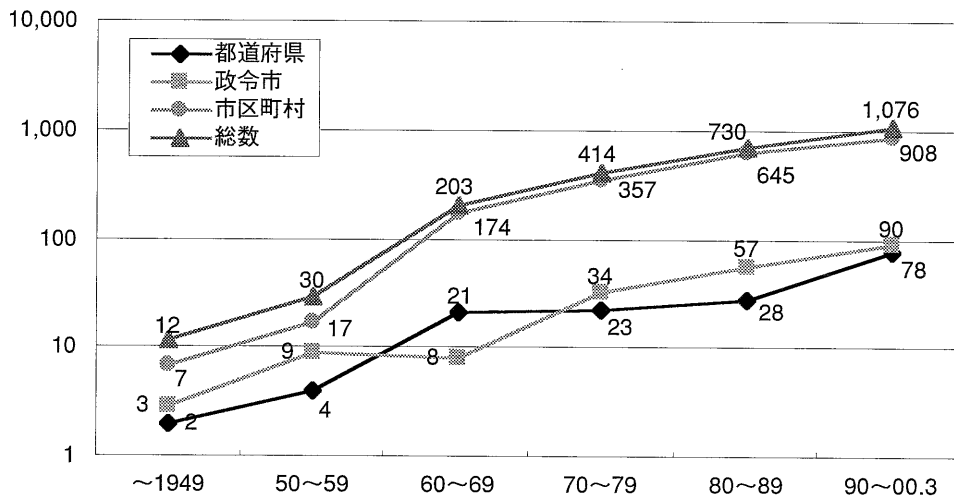


### ●年代別施設設置数の推移

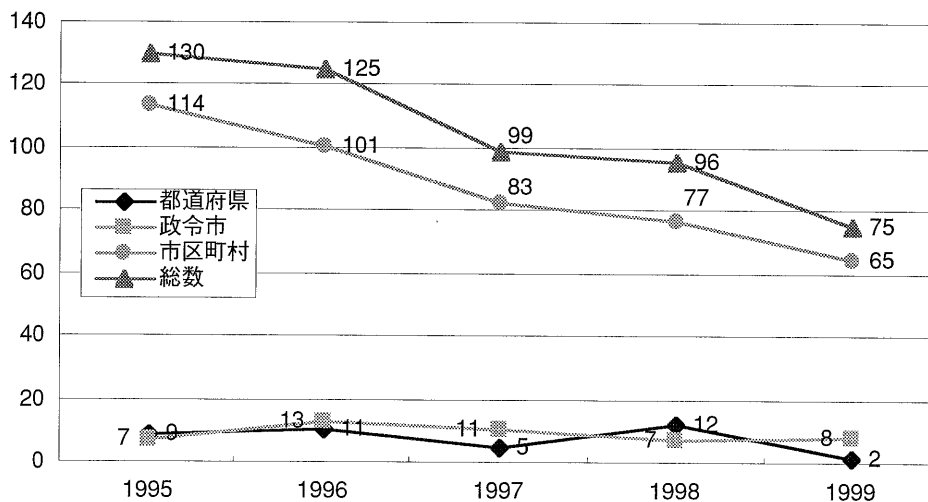
年代別ホール施設設置数の推移を設置主体別に示したのが【図5】である。開館年代別に見てみると、50年代には10年間でたった30館しか設置されなかったホール施設が、60年代には計203館、70年代414館、80年代730館、90年代1,076館（2000年3月まで含む）と加速度的なスピードで設置されていく様子がうかがえる。最も多くの施設が設置されたのは90年代で、全ホール施設の43.7%がこの10年間に設置され、80年代と合わせると、この20年間で実に全施設の73.3%が設置されているという結果となった。

近年のホール施設設置数の推移を単年で見たのが【図6】である。95年の130館をピークに、以後、減少し、99年はほぼ半減の75館に止まり、80年代の設置ペースにまで落ち着いてきているのがわかる。

【図5】ホール施設設置数の推移（暦年）



【図6】近年（95-99）のホール施設設置数の推移（暦年）



## ●個別ホールの状況

各ホール施設に付帯する個別のホール数を設置主体別に集計したのが【表7】である。2000年3月末までに設置されたホールとして回答があったのは計3,008ホールであった。設置主体別の内訳は、都道府県設置229ホール、政令市設置249ホール、市区町村設置2,530ホールで、市区町村設置ホールが全体の84.1%に上っている。

各ホールの客席数を合計すると総客席数は1,921,060席となり、ホールの規模を示す1ホールあたりの平均客席数は670.3席であった。ちなみにこれを全国平均すると人口1,000人あたり15.1席が供給されている計算になる。

設置主体別で比べると、都道府県設置施設の1ホールあたりの平均客席数は922.2席、政令市は765.7席、市区町村は637.2席となり、設置主体の規模が大きいほどホールの規模も大きくなっているのがわかる。

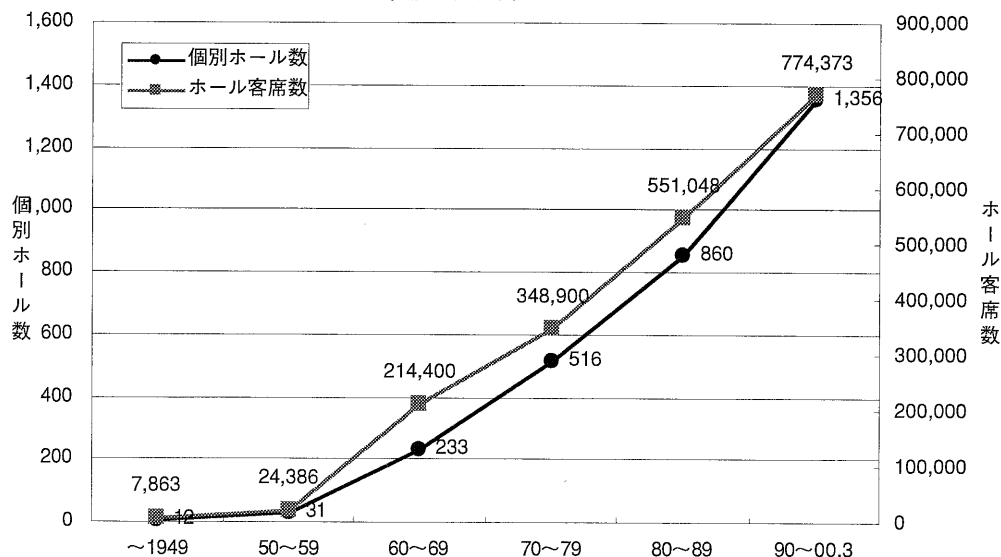
個別ホール及び客席の年代別設置数の推移を示したのが【図7】である。個別ホールでは、全体の28.6%が80年代に、45.1%が90年代に設置されている。また、客席数では、28.7%が80年代に、40.3%が90年代に供給されていた。

【表7】 設置主体別個別ホール数

設置主体	施設数	個別ホール数	客席数	平均客席数
都道府県	156	229	206,573	922.2
政令市	201	249	184,545	765.7
市区町村	2,108	2,530	1,529,942	637.2
総計	2,465	3,008	1,921,060	670.3

※平均値は有効回答数のみを母数として算出

【図7】 個別ホール・ホール客席設置数の推移（暦年）



## ●ホール複合施設の状況

ホール施設の施設形態（単館・複合）を設置主体別に集計したのが【表8】である。単館施設はホール施設2,465館中1,293館で52.5%、複合施設は1,172館で47.5%とほぼ半々であった。

設置主体別に見ると、都道府県設置施設で複合が43.6%（68館）、政令市で38.8%（78館）、市区町村で48.7%（1,026館）となり、市区町村設置施設での複合施設比率がやや高くなっている。

どのような施設と複合しているのかを設置主体別に集計したのが【表9】である。市区町村設置のホール複合施設では、公民館と複合している施設が51.9%（532館）、図書館と複合している施設が46.6%（478館）に上っており、市区町村のホール施設が生涯学習拠点、社会教育拠点として位置づけられている側面をうかがわせる結果となった。また、福祉施設と複合しているホール施設も8.9%あった。

数は少ないものの宿泊施設を有するホール施設が計37館（ホール複合施設全体の3.2%）あるというのも興味深い。

【表8】 設置主体別・施設形態別（単館・複合）ホール施設数

設置主体	単体ホール	複合ホール	総数
都道府県	88 (56.4)	68 (43.6)	156 (100)
政令市	123 (61.2)	78 (38.8)	201 (100)
市区町村	1,082 (51.3)	1,026 (48.7)	2,108 (100)
総計	1,293 (52.5)	1,172 (47.5)	2,465 (100)

※（ ）内は構成比

【表9】 設置主体別・複合施設別ホール施設数

設置主体	複合している主な施設				
	美術館	公民館	宿泊施設	福祉施設	図書館
都道府県	10	3	13	3	20
政令市	3	13	6	2	28
市区町村	23	532	18	91	478
総計	36	548	37	96	526